

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(トマト) (平成 年 月 日現在)
個人経営の場合

診断希望事項						
経営体の概要	1 経営の形態	個人経営 ①認定農業者 ②エコファーマー		資本金 千円		
	名称			従業員数		
	e-mail			家族		
	HP			男 人 女 人		
	所在地	〒	TEL	常雇		
				男 人 女 人		
	代表者名	(年齢)		パート(8時間換算)		
	営業年数	年(営農年数 年)		男 人 女 人		
	決算日	月	日	計		
				男 人 女 人		
生産部門	2 (1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()		作業時間 ①1日あたり平均 時間 ②年間 時間		
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		休日数 ①月間 日 ②年間 日		
	(3)養蚕	①養蚕		後継者 ①有り ②未定 ③無し		
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)		(5)栽培法等の特色 ①ハウス栽培(土壌養水式) ②水耕(養液)栽培(平成 年より) ③方法 a等量交換式 bNFT(自作・高段方式) ④環境制御のパソコンによる自動制御化 ⑤その他()		
	農業経営の現状と計画	(1)作目・部門名 作物面積・飼養頭数		(6)施設栽培の課題(○印、コメントを記入) ①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤水耕管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他		
		生産量	売上構成			
		①	ha/頭		トン	%
		②	ha/頭		トン	%
		③	ha/頭		トン	%
		④	ha/頭		トン	%
経営面積合計		ha	トン			
(2)経営耕地						
①所有地 畑・水田・施設栽培地・他		ha				
②借入地 畑・水田・施設栽培地・他		ha				
(3)作業受委託		作業内容	面積等			
委託・受託			ha			
委託・受託			ha			
委託・受託			ha			
(4)栽培施設の現状		ガラス プラスチック	他			
施設種類 フェンロー型		棟	棟			
		m ²	m ²			
両屋根型		棟	棟			
		m ²	m ²			
鉄骨補強パイプハウス		棟	棟			
		m ²	m ²			
地中押込式		棟	棟			
パイプハウス		m ²	m ²			
他		棟	棟			
		m ²	m ²			
生産方式	◆方式		◆生産方式の課題点			
	①養液栽培		①生産履歴の記帳①有②無(理由)			
	②高設式(培土名		②ロックワールの廃棄処理			
	③バック式		③品質レベルの統一(ハウス毎の品質管理)			
	④養液土耕式		④品種の開発			
	◆農用地の現状					

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(トマト) (平成 年 月 日現在)
法人経営の場合

診断希望事項					
1 生産法人の概要	経営の形態	法人経営 ①認定農業者 ②エコファーマー		資本金 千円・増資予定 千円	
	名称			従業員 男 人 女 人	
	e-mail			従業員 男 人 女 人	
	HP			従業員 男 人 女 人	
	所在地	〒	TEL	パート(8時間換算) 男 人 女 人	
				計 男 人 女 人	
	代表者名	(年齢)		作業時間 ①1日あたり平均 時間	
	営業年数	年(うち法人化 年)		②年間 時間	
	決算日	月 日		休日数 ①月間 日 ②年間 日	
	集団栽培	① 有り ・ ② 無し		後継者 ①有り ②未定 ③無し	
2 生産部門 該当に○印	経営の業態	①単一経営 ・ ②複合経営()		(5)栽培法等の特色	
	①認定②エコファーマーの時期 ① 年 月② 年 月			①ハウス栽培(土壌養水式)	
	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()		②水耕(養液)栽培(平成 年より) ③方法 a等量交換式 bNFT(自作・高段方式) ④環境制御のパソコンによる自動制御化 ⑤その他()	
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		(6)施設栽培の課題(○印、コメントを記入) ①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤水耕管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他	
	(3)養蚕	①養蚕			
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)			
	3 農業経営の現状と計画	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量 売上構成	(5)農業経営の課題
		①	ha/頭	トン %	①生産部門
		②	ha/頭	トン %	②貸付農家数と作物面積の内訳
		③	ha/頭	トン %	農家数 貸付数 貸付面積 地代107-ル
④		ha/頭	トン %	共同参加	
経営面積合計 ha トン			③貸付農地の問題点 ・飛地・区画 ・地代 ・その他		
(2)経営耕地					
①所有地		畑・水田・施設栽培地・他	ha		
②借入地		畑・水田・施設栽培地・他	ha		
(3)作業受委託		作業内容	面積等		
委託・受託		ha			
委託・受託		ha			
委託・受託		ha			
4 生産方式	(4)栽培施設の現状	ガラス プラスティ	他	(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)	
	施設種類	フェンロー型	棟 棟 棟	①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)	
		m ² m ² m ²		②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)	
	両屋根型	棟 棟 棟		③作業日誌	
		m ² m ² m ²		(7)トレーサビリティの対応 生産履歴の記帳(有 無)	
	鉄骨補強パイプハウス	棟 棟 棟		(理由)	
		m ² m ² m ²		(8)従業員・パート就業規則の状況・課題	
	地中押込式パイプハウス	棟 棟 棟			
		m ² m ² m ²		(9)今後の主要な計画	
	他	棟 棟 棟			
栽培方式	m ² m ² m ²				
◆方式	①養液栽培	◆生産方式の課題点			
	②高設式	①生産履歴の記帳①有②無(理由)			
	③バック式	②ロックワールの廃棄処理			
	④養液土耕式	③品質レベルの統一(ハウス毎の品質管理)			
	◆農用地の現状	④品種の開発			

1. 農業経営診断予備調査書(1-2)

施設栽培(トマト) (平成 年 月 日現在)

販売関係の現状と方針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量																					
			<table border="1"> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン、%)</th> <th>販売額(トン、%)</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>トン %</td> <td>千円 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>トン 100%</td> <td>千円 100%</td> </tr> </table>	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)	①	トン %	千円 %	②			③			④			⑤			計	トン 100%	千円 100%
	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)																					
	①	トン %	千円 %																					
②																								
③																								
④																								
⑤																								
計	トン 100%	千円 100%																						
	(7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 (8)販売上の問題点 (9)今後の販売方針・戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約栽培 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配等 % ⑥観光果樹園 % 計 100%																						
財務会計	6	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①農林中金・農林漁業公庫 スーパーL資金 千円 スーパーS資金 千円 経営体育成強化資金 千円 ②JAバンク・銀行・金庫 農業近代化資金 千円 合計 千円 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し	(6)資金管理 円/m ² ①支払い利息 円/m ² ②農業所得(法人は経常利益) 円/m ² ③借入金残高 円/m ² ④年間償還額 円/m ² ⑤年間家計費(法人は無し) 円/m ² (7)収入・所得・利益 ①1回目認定時 収入 専従者所得 専従者除く所得 (万円 万円 万円) ②現在 収入 専従者所得 専従者除く所得 (万円 万円 万円)																					
	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)就業規則 ①有り ②無し (4)給与規定 ①有り ②無し (5)退職規定 ①有り ②無し (6)健康保険 ①有り ②無し (7)厚生年金保険 ①有り ②無し (8)慰安旅行 ①有り ②無し (9)労災保険 ①有り ②無し (10)労働保険 ①有り ②無し	(11)経営組織図 外国人の雇用 ①有り ②無し																					
	8	①施設内環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など ②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ③養液栽培・植物工場マニュアル ①有り ②無し ④IT操作活用マニュアル ①有り ②無し ⑤作業マニュアル ①有り ②無し	9 □(1)従業者の高齢化 □(11)後継者難 □(2)従業者の確保難 □(12)施設コストの増加 □(3)生産方式の改善難 □(13)軽労化困難 □(4)生産効率の低下 □(14)IT化の進展困難 □(5)生産コストの増加 □(15)経営規模拡大困難 □(6)作業システムの不備 □(7)販売高の低下 □(8)利益率の低下 □(9)無減農薬の対応 □(10)有機栽培の対応																					
	各種マニュアル整備																							

2. 診断調査表(2-1)

施設栽培(トマト)

1. 農業経営の沿革															
(1)経営規模の推移と内容															
(2)栽培方式の転換などの経過															
(3)現在の経営規模と生産方式															
(4)現在の経営の特色															
2. 農業コンセプト(○印をつける)															
(1)食の安心・安全を基本にして栽培している: ①いる ②いない															
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培している: ①いる ②いない ③一部は契約栽培している															
(3)無・減農薬・有機栽培している: ①いる ②いない ③一部はしている															
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている: ①いる ②いない ③まだ不十分															
(5)ISO 14001・9001・22000の導入 ①している ②していない															
3. 作目・品種部門の内容															
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㎡)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培					
4. 施設・栽培方式の経緯															
作目	年度				()	5. 栽培変更計画中の作目・品種は									
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	その特徴は									
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年構成比	%	%	%	%										
	品種名					その栽培時期は									
作目	年度														
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	そのおいしさは									
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年構成比	%	%	%	%	その成長の度合い、実の収穫数は									
	品種名														
作目	年度														
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	備考欄									
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター	ヘク ター										
	平成 年構成比	%	%	%	%										
	品種名														
6. 収穫方法															
7. 作目・品種・立地条件などの問題点															

2. 診断調査表(2-2)

施設栽培(トマト)

8. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)				
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		

9. 機械・設備の状況と作業受委託の状況

(1)①トラクター (台)PS ②トラック 台 ③パイプハウス m(m× m)
④ヒートポンプ kw× 台 ⑤換気扇 台 ⑥ポンプ kw× 台
⑦

(2)作業受託
(3)作業委託
(4)その他設備(貯蔵庫など)

10. 生産・技術・設備状況(特色は、)

	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	△()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	△()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	△()は件数
(4)雇用人数	人()	人()	人()	人()	△()は女性数
(5)機械の導入	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	

11. 野菜施設栽培・作業技術について

(1)トマト施設栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有無 ①有 ②無 ③検討中()
 (2)トマト施設栽培・作業技術の体系の有無 ①有 ②無 ③検討中()
 (3)トマト施設栽培(様式別)の収量と労働時間の基準 ①有 ②無 ③検討中()
 (4)トマト施設栽培の栽培費用・労働時間・収量基準 ①有 ②無 ③検討中()
 (5)農業試験場などによる奨励品種の検討 ①有 ②無 ③検討中()
 (6)その他栽培方式・作業技術の再検討 ①有 ②無 ③検討中()

12. 労働環境の改善等実施状況

下記の実施程度に○印をつけてください

①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×	⑥雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
②担い手確保や後継者育成	◎	○	△	×	⑦雇用確保の方法	◎	○	△	×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×	⑧報酬・退職金等の条件整備	◎	○	△	×
④従業者の作業位置の適正化	◎	○	△	×	⑨福利厚生制度の整備	◎	○	△	×
⑤組合員の労働報酬の決め方	◎	○	△	×	⑩作業管理と安全管理	◎	○	△	×

その他労務上の問題点

3. 診断調査表

1. トマト栽培体系(モデル例)(栽培面積0.6ha、労働力7人/家族2人・雇用5人)

月旬	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
栽培型、品種	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
養液栽培 (大規模経営)	〇 ☆ Ω Ψ ★											
長期どり	〇 △ ◎											
桃太郎ヨーク												
主要作業名	播 移 種 植	定 植	収 穫 始 め	暖 房	二 重 被 覆				二 重 被 覆 終 り	暖 房 終 り		
	収 穫 終 了											

〇 ハウス〇播種 △移植 ◎ 定植 収穫始め～終り ☆暖房 ★暖房終 Ω 二重被覆始め Ψ 二重被覆終り

※主要な技術及び留意点

- ・ロックウール栽培
- ・年1作型(長期どり)で雇用労力を有効活用
- ・虫媒交配によるホルモン処理等の課題
- ・集出荷施設の整備による選果、箱詰め、調整作業の省力化

2. トマト栽培体系(受診農園の場合)

月旬	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
主要作業名												

〇 ハウス〇播種 △移植 ◎ 定植 収穫始め～終り ☆暖房 ★暖房終 Ω 二重被覆始め Ψ 二重被覆終り

※主要な技術及び留意点

施設栽培(トマト)

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。
(注2) B、C欄は、診断先の実績を記入する。
(注3) 栽培面積1ヘクタールの場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

5. 収益と費用 施設栽培(トマト)

(単位: ケース、円、%)

項 目		基準値	診 断 対 象			対 比	備考
		H 年 A 10㍻-当り	H 年 B 全 体	H 年 C 全 体	H 年 D 10㍻-当り	D÷A×100	
粗 収 益	生産量(kg)	18,000					
	販売単価(1kg当り)	344					県経済連取扱
	生産額	6,192,000					
	副産物収入	0					
	合 計	6,192,000					①
経 営 費	直接 生 産 費	種苗費	37,422				自根栽培(接ぎ木なし)
		肥料費	192,000				養液栽培用液肥
		農薬費	60,428				
		光熱動力費	480,400				重油、電力料金、ガソリン
		諸材料費	337,507				内部被覆資材、ロックウール他
		小農具費	11,000				
		賃料料金	0				
		雇用労賃	485,633				850円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
	計	1,604,390					
	変 動 費	資材費	450,000				選別機利用料
		運賃	382,500				85円/ケース
		手数料	619,200				市場7%、農協2%、経済連1%
		その他	91,800				
		計	1,543,500				
	小 計		3,147,890				
	固 定 費	減価償却費	767,153				鉄骨ハウス、ロックウールシステム他
		成園費・成蓄費	0				
		借地料	5,000				
		修繕費	303,082				
		その他	0				
		小 計	1,075,235				
	合 計		4,223,125				②
	成 果	農 業 所 得	1,968,874				
所 得 率 %		31.8					③÷①
家族労働1時間当り 所得		2,989					③÷T(円/時間)
家族労働見積額 円		1,185,600					
自己資本利子見積額 円		208,064					
自己地代見積額 円		5,000					
生産費(全額参入生産費)円		5,261,790					④
利 潤 円		570,210					⑤=①-④
利潤率 %		9.2					⑤÷①
総労働時間(時間)		1,230					
家族労働時間		659					T
雇用労働時間		571					

(注1)基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2)B、C、D欄は、診断先の実績を記入する。

(注3)栽培面積1㍻の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

6-1.将来の目標計画(野菜・花き)

			項目	平成 年 A	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年 B	B÷A×100
経営規模	野菜	ト	作付面積 (㎡)						
		マ	生産量 (kg)						
		ト	作付面積 (㎡)						
		マ	生産量 (kg)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
	花き		作付面積 (㎡)						
			生産量 (本)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (本)						
	土地建物		所有地 (ha)						
			借地 (ha)						
		ハウス (㎡)							
		堆肥舎 (㎡)							
労働力	自家		労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
	雇用	常時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
		臨時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
		総労働時間<年間>							
	常時従業者一人当たり年平均時間								
経営戦略									

6-2.将来の目標計画表

施設栽培(トマト)

(単位:ケース、円、%)

項 目			実績	目 標 値					B÷A×100
			H 年 A10㍻当り	H 年 10㍻当り	H 年 10㍻当り	H 年 10㍻当り	H 年 B10㍻当り		
粗 収 益	生産量(kg)								
	販売単価(1kg当り)								
	生産額								
	副産物収入								
	合 計								
経 営 費	直接 生産費	種苗費							
		肥料費							
		農薬費							
		光熱動力費							
		諸材料費							
		小農具費							
		賃料料金							
		雇用労賃							
		水利費							
		その他							
		計							
		出荷 経費	資材費						
	運賃								
	手数料								
	その他								
	計								
	小 計								
	(限界利益)								
	固定費	減価償却費							
		成園費・成蓄費							
		借地料							
		修繕費							
		その他							
		小 計							
	経営費合計								
農業所得(経常利益)									
所 得 率 %									
損益分岐点売上高									
損益分岐点販売量									
経営安全率									

6.経営力チェックリスト

(5. 3. 1のいずれかに○印をつけてください。)

チェック者()

年 月 日

1. 経営者		得 点		
①	経営目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3	1
②	外部環境の変化に積極的に取り組み、現状改革に努めていますか	5	3	1
③	経営理念や将来像などを文書にして内部構成員に明示していますか	5	3	1
④	経営規模拡大や収益向上を目指し、販売先、流通方法などマーケティングに積極的に取り組んでいますか	5	3	1
⑤	生産情報公表JAS規格(認定農業者)への適合に努めていますか(種まきから農薬の種類、化学肥料、土壌改質材などの使用頻度・生産履歴を公表できる)	5	3	1
⑥	家族経営型から雇用経営型へと転換し、作物管理は従業員に任せ、経営者は労務管理や販売などに重点を置いて取り組んでいますか	5	3	1
⑦	経営問題について専門家やJA指導員と相談して解決を図っていますか	5	3	1
⑧	養液栽培では廃水処理、土壌汚染対策等環境保全に積極的に取り組み肥料の節約や省資源に努めていますか	5	3	1
⑨	後継者対策・雇用対策に取り組んでいますか	5	3	1
⑩	地域社会や集落営農組織との連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3	1
得点計()				

2. 経営基本		得 点		
①	経営目標・経営計画(長期・短期)を樹立していますか	5	3	1
②	全ての業務にPDCA(計画・実施・チェック・改善行動)サイクルを実施していますか	5	3	1
③	地域の特性や立地に合わせた栽培構成になっていますか	5	3	1
④	ハウスは年間を通じて有効に活用していますか	5	3	1
⑤	新技術や経営情報の習得に努め経営改善に生かしていますか	5	3	1
⑥	気象条件に対して省力化やノウハウの導入で生産性向上に努めていますか	5	3	1
⑦	常に経営資源(土地・労働力・農業投資)の有効活用を考慮していますか	5	3	1
⑧	パソコンによる事務記帳・作業日記による経営分析を行っていますか	5	3	1
⑨	生産高・損益・生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3	1
⑩	資金調達・省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3	1
得点計()				

3. 販売管理		得 点		
①	経営目標に沿って生産・販売計画を立てていますか	5	3	1
②	市場情報を的確につかみ、販売・生産に反映させていますか	5	3	1
③	過去の各々の販売実績を分析して、新しい販売計画を立てていますか	5	3	1
④	販売高の動向について、その原因分析を行っていますか	5	3	1
⑤	販売経路・販売促進・販売方法を考慮していますか	5	3	1
⑥	販売先との情報交換を分析して改善策を行っていますか	5	3	1
⑦	来園者のニーズや意見を農園の経営に生かしていますか	5	3	1
⑧	販売価格と生産費を常に意識して改善していますか	5	3	1
⑨	競争相手と比較して品質・価格をつかみ対抗戦略を考えていますか	5	3	1
⑩	JA共販・市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3	1
得点計()				

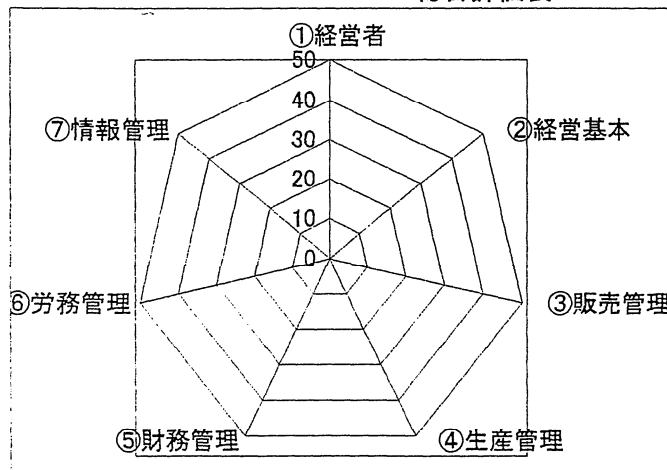
4. 生産管理		得 点		
①	生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3	1
②	生産計画は、生産・販売・労務の関係担当者(部門)が合議して作成されていますか	5	3	1
③	マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3	1
④	作目別の年間作業標準は作られ、それを守っていますか	5	3	1
⑤	ポジティブリスト制(登録以外の農薬の使用禁止の法律)の施行に対応して、農薬の管理体制の強化に努めていますか	5	3	1
⑥	地力に対して肥料の投入量を検討し、実施していますか	5	3	1
⑦	作目は自然や経済条件(環境)の特性を生かしていますか	5	3	1
⑧	適期作業・適期管理が行われていますか	5	3	1
⑨	農業機械の導入活用(自家用・委託)は、適切ですか	5	3	1
⑩	ベット式・養液栽培などの成功例を参考にしていますか	5	3	1
得点計()				

5. 労務管理		得 点		
①	希望通りの採用ができるよう対策を講じていますか	5	3	1
②	新入者や未熟練者に対して教育は充分実施していますか	5	3	1
③	目標・労働時間があり1日8時間・年間1800時間に近づいていますか	5	3	1
④	就業規則や服務規程があり、よく守られていますか	5	3	1
⑤	労災・社会保障・雇用保険に加入していますか(雇用4ヶ月以上ある場合)	5	3	1
⑥	家族・雇用者の年1回健康診断は実施していますか	5	3	1
⑦	従業員の福利厚生にも充分力を入れていますか	5	3	1
⑧	作業者の安全衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑨	給与は社会的水準に比較して高いほうですか	5	3	1
⑩	意思の疎通・苦情処理にも努めて風通しのよい職場の雰囲気できていますか	5	3	1
得点計()				

6. 財務管理		得 点		
①	経営と家計の区別が適切に行われていますか。	5	3	1
②	複式簿記による記帳を行っていますか。	5	3	1
③	現金と預金の残高チェックが適切に行われていますか。	5	3	1
④	資金繰り表作成の上借入金の返済計画は適正ですか。	5	3	1
⑤	青色申告を行っていますか。	5	3	1
⑥	短期借入金に対する支払い能力は十分ありますか。	5	3	1
⑦	固定資産を購入するために短期借入金をつぎ込んでいませんか。	5	3	1
⑧	受取手形や売掛金が売上高に対して過大ではありませんか。	5	3	1
⑨	借入資本と自己資金のバランスは適当ですか。	5	3	1
⑩	利益目標達成のための財務分析を十分行っていますか。	5	3	1
得点計()				

7. 情報管理		得 点		
①	合理的な販売活動のため、市場調査・分析を行っていますか。	5	3	1
②	常に消費者の声を聞くことに心掛けていますか。	5	3	1
③	商品とともに生産者の声を消費者に届けていますか。	5	3	1
④	商品に対するクレームを整理し、生産・販売にいかしていますか。	5	3	1
⑤	顧客名簿を作成していますか。	5	3	1
⑥	顧客名簿は定期的に整理していますか。	5	3	1
⑦	顧客と意思疎通を、定期的に行っていますか。	5	3	1
⑧	広告活動(チラシ・DM等)を行っていますか。	5	3	1
⑨	消費者に本当に必要な情報を発信していますか。	5	3	1
⑩	顧客名簿の保全是万全ですか。	5	3	1
得点計()				

総合評価表



企業名()
採点基準
・充分な状態 5
・実施しているが、充分とはいえない 3
・実施していない、当てはまらない 1

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(イチゴ) (平成 年 月 日現在)
個人経営の場合

診断希望事項											
1 経営体の概要	経営の形態 個人経営 ①認定農業者 ②エコファーマー		資本金 千円								
	名称			従業員数	家族	男	人	女	人		
	e-mail					男	人	女	人		
	HP					男	人	女	人		
	所在地	〒	TEL			男	人	女	人		
						男	人	女	人		
	代表者名	(年齢)		作業時間	①1日あたり平均 時間						
	営業年数	年(営農年数 年)			②年間 時間						
	決算日	月 日		休日数	①月間 日 ②年間 日						
	集団栽培	① 有り ・ ② 無し		後継者	①有り ②未定 ③無し						
経営の業態	①単一経営 ・ ②複合経営()		(5)栽培法等の特色								
①認定②エコファーマーの時期	① 年 月 ② 年 月		①ハウス栽培(土壌養水式)								
2 生産部門	該当に○印	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()			②水耕(養液)栽培(平成 年より) ③方法a等量交換式bNFT(自作・高段方式) ④環境制御のパソコンによる自動制御化 ⑤その他()					
		(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他			(5)施設栽培の課題(○印、コメントを記入) ①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤水耕管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他()					
		(3)養蚕	①養蚕								
		(4)加工	①農産物加工(品名 ②畜産物加工(品名 ③林産加工(品名								
3 農業経営の現状と計画		(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	売上構成	(5)農業経営の特徴					
		①	ha/頭	トン	%						
		②	ha/頭	トン	%						
		③	ha/頭	トン	%						
		④	ha/頭	トン	%						
		経営面積合計			ha	トン					
		(2)経営耕地									
		①所有地	畑・水田・施設栽培地・他	ha							
		②借入地	畑・水田・施設栽培地・他	ha							
		(3)作業受委託			作業内容	面積等					
委託・受託				ha							
委託・受託				ha							
委託・受託				ha							
(4)栽培施設の現状			ガラス プラスチック	他	(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)						
施設種類			フェンロー型	棟	棟	棟	①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)				
			両屋根型	棟	棟	棟	②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)				
				棟	棟	棟	③作業日誌				
			鉄骨補強パイプハウス	棟	棟	棟	(7)家族協定書の(有 無)				
				棟	棟	棟	(8)常雇・パート就業規則の(有 無)				
			地中押込式パイプハウス	棟	棟	棟	①労働条件通知書(有 無)				
			他	棟	棟	棟	②雇用契約書(有 無)				
				棟	棟	棟	③労災保険(従業者5人以上、5人以下)(有 無)				
				棟	棟	棟	④雇用保険(従業者5人以上、5人以下)(有 無)				
4 生産方式	◆方式			◆生産方式の課題点							
	①養液栽培 ②高設式 (培土名) ③バッグ式 ④養液土耕式 ◆農用地の現状			①生産履歴の記帳①有②無(理由) ②ロクワールの廃棄処理 ③品質レベルの統一(ハウス毎の品質管理) ④品種の開発							

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(イチゴ) (平成 年 月 日現在)
法人経営の場合

診断希望事項																					
1 経営の形態 法人経営 ①認定農業者 ②エコファーマー	名称				資本金	千円・増資予定 千円															
	e-mail				従業員	男	人	女	人												
	HP				従業員	男	人	女	人												
	所在地	〒	TEL		パート(8時間換算)	男	人	女	人												
	代表者名	(年齢)			計	男	人	女	人												
	営業年数	年(うち法人化 年)			作業時間	①1日あたり平均 時間															
	決算日	月 日			②年間 時間																
	集団栽培	① 有り ・ ② 無し			休日数	①月間 日 ②年間 日															
	経営の業態	①単一経営・②複合経営()			後継者	①有り ②未定 ③無し															
	①認定②エコファーマーの時期	① 年 月 ② 年 月			(5)栽培法等の特色																
2 生産部門 該部に○印	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()			①ハウス栽培(土壌養水式) ②水耕(養液)栽培(平成 年より) ③方法 a等量交換式 bNFT(自作・高段方式) ④環境制御のパソコンによる自動制御化 ⑤その他()																
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他			(6)施設栽培の課題(○印、コメントを記入) ①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤水耕管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他																
	(3)養蚕	①養蚕																			
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)																			
	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	売上構成	(5)農業経営の課題																
	①	ha/頭	トン	%	①生産部門																
	②	ha/頭	トン	%	②貸付農家数と作物面積の内訳																
	③	ha/頭	トン	%	<table border="1"> <tr> <th>農家数</th> <th>貸付数</th> <th>貸付面積</th> <th>地代107ール</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共同参加</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					農家数	貸付数	貸付面積	地代107ール					共同参加			
	農家数	貸付数	貸付面積	地代107ール																	
共同参加																					
④	ha/頭	トン	%	③貸付農地の問題点 ・飛地・区画 ・地代 ・その他																	
経営面積合計				ha	トン																
3 農業経営の現状と計画	(2)経営耕地																				
	①所有地	畑・水田・施設栽培地・他	ha																		
	②借入地	畑・水田・施設栽培地・他	ha																		
	(3)作業受委託	作業内容	面積等																		
	委託・受託		ha																		
	委託・受託		ha																		
	委託・受託		ha																		
	(4)栽培施設の現状	ガラス プラスチック 他																			
	施設種類	フェンロー	棟	棟	棟	(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)															
		m ²	m ²	m ²	①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)																
	両屋根型	棟	棟	棟	②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)																
	m ²	m ²	m ²	③作業日誌																	
	パイプハウ	棟	棟	棟	(7)トレーサビリティの対応 生産履歴の記帳(有 無)																
	m ²	m ²	m ²	(理由)																	
	地中押込式パイプハウス	棟	棟	棟	(8)従業員・パート就業規則の状況・課題																
	m ²	m ²	m ²																		
	他	棟	棟	棟	(9)今後の主要な計画																
	m ²	m ²	m ²																		
4 生産方式	栽培方式																				
	◆方式 ①養液栽培 ②高設式 ③ハック式 ④養液土耕式 ◆農用地の現状	◆生産方式の課題点 ①生産履歴の記帳①有②無(理由) ②ロックワールの廃棄処理 ③品質レベルの統一(ハウス毎の品質管理) ④品種の開発																			

1. 農業經營診斷予備調查書(1-2)

施設栽培(イチゴ) (平成 年 月 日現在)

販売関係の現状と方針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量																					
			<table border="1"> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン、%)</th> <th>販売額(トン、%)</th> </tr> <tr><td>①</td><td>トン %</td><td>千円 %</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>トン 100%</td><td>千円 100%</td></tr> </table>	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)	①	トン %	千円 %	②			③			④			⑤			計	トン 100%	千円 100%
	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)																					
	①	トン %	千円 %																					
②																								
③																								
④																								
⑤																								
計	トン 100%	千円 100%																						
	(7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8)販売上の問題点 (9)今後の販売方針・戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約栽培 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配等 % ⑥観光果樹園 % 計 100%																						
財務会計	6	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①農林中金・農林漁業公庫 スーパーL資金 千円 スーパーS資金 千円 経営体育成強化資金 千円 ②JAバンク・銀行・金庫 農業近代化資金 千円 合計 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し	(6)資金管理 円/㎡ ① 支払い利息 円/㎡ ② 農業所得(法人は経常利益) 円/㎡ ③ 借入金残高 円/㎡ ④ 年間償還額 円/㎡ ⑤ 年間家計費(法人は無し) 円/㎡ (7)収入・所得・利益 ①1回目認定時 収入 専従者所得 専従者除く所得 (万円)(万円)(万円) ②現在 収入 専従者所得 専従者除く所得 (万円)(万円)(万円)																					
	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)就業規則 ①有り ②無し (4)給与規定 ①有り ②無し (5)退職規定 ①有り ②無し (6)健康保険 ①有り ②無し (7)厚生年金保険 ①有り ②無し (8)慰安旅行 ①有り ②無し (9)労災保険 ①有り ②無し (10)労働保険 ①有り ②無し	(11)経営組織図 外国人の雇用 ①有り ②無し																					
	8	①施設内環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など ②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ③養液栽培・植物工場マニュアル ①有り ②無し ④IT操作活用マニュアル ①有り ②無し ⑤作業マニュアル ①有り ②無し	9 経営上の課題点 □(1)従業者の高齢化 □(11)後継者難 □(2)従業者の確保難 □(12)施設コストの増加 □(3)生産方式の改善難 □(13)軽労化困難 □(4)生産効率の低下 □(14)IT化の進展困難 □(5)生産コストの増加 □(15)経営規模拡大困難 □(6)作業システムの不備 □(7)販売高の低下 □(8)利益率の低下 □(9)無減農薬の対応 □(10)有機栽培の対応																					

2. 診断調査表(2-1)

施設栽培(イチゴ)

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容										
(2)栽培方式の転換などの経過										
(3)現在の経営規模と生産方式										
(4)現在の経営の特色										
2. 農業コンセプト(○印をつける)										
(1)食の安心・安全を基本にして栽培している。①いる ②いない										
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培している。①いる ②いない ③一部は契約栽培している										
(3)無・減農薬・有機栽培している。①いる ②いない ③一部はしている										
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。①いる ②いない ③まだ不十分										
(5)ISO 14001・9001・22000の導入 ①している ②していない										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㎡)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度				()	5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	その特徴は				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度					その栽培時期は				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
作目	年度					そのおいしさは				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
作目	年度					その成長の度合い、実の収穫数は				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
作目	年度					備考欄				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
6. 収穫方法										
7. 作目・品種・立地条件などの問題点										

2. 診断調査表(2-2)

施設栽培(イチゴ)

8. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)				
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		

9. 機械・設備の状況と作業受委託の状況				
(1)①トラクター (台)PS ④ヒートポンプ kw× 台 ⑦	②トラック 台 ⑤換気扇 台 ⑥ポンプ kw× 台	③パイプハウス m(m× m)		
(2)作業受託 (3)作業委託 (4)その他設備(貯蔵庫など)				

10. 生産・技術・設備状況(特色は、)					
	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	畝()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	畝()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	畝()は件数
(4)雇用人数 人()	人()	人()	人()	人()	畝()は女性数
(5)機械の導入	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	

11. 野菜施設栽培・作業技術について			
(1)イチゴ施設栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有無	①有 ②無 ③検討中()		
(2)イチゴ施設栽培・作業技術の体系の有無	①有 ②無 ③検討中()		
(3)イチゴ施設栽培(様式別)の収量と労働時間の基準	①有 ②無 ③検討中()		
(4)イチゴ施設栽培の栽培費用・労働時間・収量基準	①有 ②無 ③検討中()		
(5)農業試験場などによる奨励品種の検討	①有 ②無 ③検討中()		
(6)その他栽培方式・作業技術の再検討	①有 ②無 ③検討中()		

12. 労働環境の改善等実施状況									
下記の実施程度に○印をつけてください									
①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×	⑥雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
②担い手確保や後継者育成	◎	○	△	×	⑦雇用確保の方法	◎	○	△	×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×	⑧報酬・退職金等の条件整備	◎	○	△	×
④従業者の作業位置の適正化	◎	○	△	×	⑨福利厚生制度の整備	◎	○	△	×
⑤組合員の労働報酬の決め方	◎	○	△	×	⑩作業管理と安全性管理	◎	○	△	×

その他労務上の問題点

3. 診断調査表

1. イチゴ栽培体系(モデル例)

月旬	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
	△ ◆ ◆ ◎ * ☆ Ω Ψ ∩ ○											
	△ ◆ ◆ ◎ * ☆ Ω Ψ ∩ ○											
	△ ◆ ◆ ◎ * ☆ Ω Ψ ∩ ○											
	△ ◆ ◆ ◎ * ☆ Ω Ψ ∩ ○											
主要作業名	収穫終了	ポット受け	ランナー切り離し		定植	ホリマルチンク	保温開始・暖房	収穫始め・二重被覆始め			二重被覆終り	専用株定植・ほほ暖房終り

△ ランナー切り離し ◎ 定植 ☆ 暖房 Ψ 二重被覆終り ○ 親株定植

◆ 夜冷

* ホリマルチンク Ω 二重被覆始め ∩ ハウス

□ 収穫始め～終わり

2. イチゴ栽培体系(受診農園の場合)

月旬	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
主要作業名												

施設栽培(イチゴ)

(注1)基準値は、静岡県農業試験場モデル。
(注2)B、C欄は、診断先の実績を記入する。
(注3)栽培面積1haの場合、およそ基準値の10倍の数値になると考えられる。

5. 収益と費用

施設栽培(イチゴ)

(単位:kg、円、%)

項 目	基準値		診 断 文			対 比	
	H 年 A10㍻当り	H 年 B 全 体	H 年 C 全 体	H 年 D10㍻当 り		D÷A×100	備考
粗 収 益	生産量(kg)	6,000					750g/株、8,000株/10a、 6月上旬まで収穫
	販売単価(1kg当り)	1,102					県経済連取扱
	生産額	6,612,000					
	副産物収入	0					
	合 計	6,612,000					①
経 営 費	直接 生産 費	種苗費	17,500				ウイルスフリー苗、3年更新
		肥料費	113,548				養液栽培用液肥
		農薬費	60,818				
		光熱動力費	426,800				重油、灯油、電力料金、 ガソリン
		諸材料費	175,307				ビニール、ダクト、培土
		小農具費	0				
		賃料料金	16,000				ミツバチ
		雇用労賃	862,183				850円/時間
		水利費	0				
		その他	0				
		計	1,672,156				
		小 計	2,840,296				
	出 荷 経 費	資材費	250,000				ダンボール、バック、セロハン
		運賃	200,000				10円/バック
		手数料	628,140				市場7%、農協2.5%、経 済連1%
		その他	90,000				
		計	1,168,140				
	固 定 費	減価償却費	679,958				ビニールハウス、高設栽培装 置他
		成園費・成蓄費	0				
		借地料	0				
		修繕費	215,832				
		その他	0				
		小 計	895,790				
	合 計		3,736,086				②
成 果	農 業 所 得		2,875,913				③=①-②
	所 得 率 %		43.5%				③÷①
	家族労働1時間当り 所得		4,360				③÷T(円/時間)
家族労働見積額 円		1,187,400					
自己資本利子見積額 円		140,328					
自己地代見積額 円		10,000					
生産費(全額参入生産費)円		5,073,815					④
利 潤 円		1,538,185					⑤=①-④
利潤率 %		23.5%					⑤÷①
総労働時間(時間)		1,674					
家族労働時間		660					T
雇用労働時間		1,014					

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。

(注2) B、C、D欄は、診断先の実績を記入する。

(注3) 栽培面積1㍻の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

6.将来の目標計画(野菜・花き)

			項目	平成 年 A	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年 B	B/A
経営規模	野菜	イチゴ	作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
			作付面積 (㎡)						
			生産量 (kg)						
		花き	作付面積 (㎡)						
			生産量 (本)						
	作付面積 (㎡)								
	生産量 (本)								
	土地建物	所有地 (ha)							
		借地 (ha)							
		ハウス (㎡)							
		堆肥舎 (㎡)							
労働力	自家	労働員数 (人)							
		労働時間 (年)							
	雇用	常時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
		臨時	労働員数 (人)						
			労働時間 (年)						
	総労働時間<年間>								
常時従業者一人当たり年平均時間									
経営戦略									

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(温室メロン) (平成 年 月 日現在)

診断希望事項									
1 生産の概要	経営の形態	①個人経営 ②法人経営			資本金	千円・増資予定		千円	
	名称				従業員	男	人	女	人
	e-mail				従業員	男	人	女	人
	HP				家族	男	人	女	人
	所在地	〒	TEL		パート(8時間換算)	男	人	女	人
					計	男	人	女	人
	代表者名	(年齢)			作業時間	①1日あたり平均 時間			
	認定農業者資格	①有り ②無し ③申請中	家族協定書	①有り ②無し	②年間 時間				
	エコファーマー	①有り ②無し ③申請中			休日数	①月間 日 ②年間 日			
	営業年数	年(うち法人化 年)			後継者	①有り ②未定 ③無し			
決算日	月 日			(5)栽培法等の特色					
集団栽培	①有り ②無し			①ハウス栽培(土壌養水式)					
経営の業態	①単一経営 ②複合経営			②土壌消毒 a薬剤消毒 b蒸気消毒 c熱水消毒 d太陽熱利用熱水消毒					
2 生産部門 該当に○印	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()			③水耕(溶液)栽培(平成 年より) ④方法 a等量交換式 bNFT(自作・高段方式) c湛液型 ⑤培養液組成処方 a園試処方 b山崎メロン処方 c静大処方 dその他 ⑥培地 aロックウール bその他() ⑦環境制御のパソコンによる自動制御化				
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他			⑧品質の均一化 優 良 並 ⑨その他()				
	(3)養蚕	①養蚕			(6)施設栽培の課題(○印、コメントを記入)				
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)			①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択				
	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量売上構成		④施設管理技術				
	①	ha/頭	ト	%	⑤水耕管理				
	②	ha/頭	ト	%	⑥労働時間・作業様式				
	③	ha/頭	ト	%	⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保)				
	④	ha/頭	ト	%	⑧その他()				
	3 農業経営の現状と計画	経営面積合計			ha	ト	(5)農業経営の課題		
(2)経営耕地			①生産部門						
①所有地		畑・水田・施設栽培地・他	ha	②貸付農家数と作物面積の内訳					
②借入地		畑・水田・施設栽培地・他	ha	農家数 貸付数 貸付面積 地代107-ル					
(3)作業受委託		作業内容	面積等	共同参加					
委託・受託		ha							
委託・受託		ha							
委託・受託		ha							
(4)栽培施設の現状		ガラス プラスティ 他	③貸付農地の問題点						
施設種類		フェンロー型	棟	棟	棟	・飛地・区画			
	両屋根型	棟	棟	棟	・地代				
	鉄骨補強パイプハウス	棟	棟	棟	・その他				
	地中押込式パイプハウス	棟	棟	棟	(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)				
	他	棟	棟	棟	①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)				
栽培方式		棟	棟	棟	②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)				
		棟	棟	棟	③作業日誌				
4 生産方式	◆機械・施設名			形式	面積等	◆生産方式の課題点			
	①建物施設 ②加工施設 ◆農用地の現状								

1. 農業経営診断予備調査書(1-2)

施設栽培(温室メロン) (平成 年 月 日現在)

販 売 関 係 の 現 状 と 方 針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量				
			生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)		
			①	トン	%	千円	%
			②				
			③				
			④				
			⑤				
			計	トン	100%	千円	100%
		(7)代金 ①農協経由 %②現金 %③その他 (8)販売上の問題点 (9)今後の販売方針・戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約栽培 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配等 % ⑥観光果樹園 % 計 100%				
財 務 会 計	6	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①政府系金融機関 千円 千円 ②民間金融機関 千円 千円 合計 千円 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し	(6)借入金の投資内容 ①施設投資 ② (7)利益計画達成の課題				
人 事 ・ 労 務 関 係	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)就業規則 ①有り ②無し (4)給与規定 ①有り ②無し (5)退職規定 ①有り ②無し (6)健康保険 ①有り ②無し (7)厚生年金保険 ①有り ②無し (8)慰安旅行 ①有り ②無し (9)健康診断 ①有り ②無し	(9)経営組織図				
各 種 マ ニ ュ ア ル 整 備	8	①施設内環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など ②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ③溶液栽培マニュアル ①有り ②無し ④IT操作活用マニュアル ①有り ②無し	9				
			□(1)従業者の高齢化	□(11)後継者難			
			□(2)従業者の確保難	□(12)施設コストの増加			
			□(3)生産方式の改善難	□(13)軽労化困難			
			□(4)生産効率の低下	□(14)IT化の進展困難			
			□(5)生産コストの増加	□(15)経営規模拡大困難			
			□(6)作業システムの不備				
			□(7)販売高の低下				
			□(8)利益率の低下				
			□(9)無減農薬の対応				
			□(10)有機栽培の対応				

2. 診断調査表(2-1)

施設栽培(温室メロン)

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容										
(2)栽培方式の転換などの経過										
(3)現在の経営規模と生産方式										
(4)現在の経営の特色										
2. 農業コンセプト(○印をつける)										
(1)食の安心・安全を基本にして栽培して①いる ②いない										
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培して①いる ②いない ③一部は契約栽培している										
(3)無・減農薬・有機栽培している。 ①いる ②いない ③一部はしている										
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図って①いる ②いない ③まだ不十分										
(5)ISO 14001・9001の導入 ①している ②していない										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㎡)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度					5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-	特徴 ①時期的 ②美味し: 優 良 並 ③量的 優 良 並				
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
平成 年構成比	%	%	%	%						
品種名										
作目	年度					6. 病虫害防除剤(使用しているものに○)				
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-	①うどん粉病 ポリオキシシンAL水和剤(), モレスタン水和剤() その他() ②アブラムシ DDVP50乳剤(), その他() ③ハダニ モレスタン水和剤(), ピラニカ(), その他() ④ミナミキイロアザミウマ アドマイヤー水和剤(), カスケード乳剤(), その他() ⑤シルバーリーフコナジラミ トレボン乳剤(), その他()				
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
	平成 年	ア-	ア-	ア-	ア-					
平成 年構成比	%	%	%	%	備考欄					
品種名										
6. 収穫方法(袋がけ他)										
7. 作目・品種・立地条件・などの問題点										

2. 診断調査表(2-2)

施設栽培(温室メロン)

7. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)					
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)	
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%			
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%			
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%			
8. 機械・設備の状況と作業受委託の状況					
(1)機械・設備 ①自動畝立て機 ②動力噴霧器 ③煙霧機及び配管 ④炭酸ガス発生器 ⑤ボイラー ⑥アルミベンチ ⑦自動灌水機 ⑧複合環境制御装置 ⑨軽トラック ⑩蒸気消毒機 (2)作業受託 (3)作業委託 (4)その他設備(貯蔵庫など)					
9. 生産・技術・設備状況(特色は、)					
	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	△()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	△()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	△()は件数
(4)雇用人数	人()	人()	人()	人()	△()は女性数
(5)機械の導入(8の番号)	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	
10. 野菜施設栽培・作業技術について					
(1)温室メロン栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有 ①有 ②無 ③検討中() (2)温室メロン栽培・作業技術の体系の有無 ①有 ②無 ③検討中() (3)温室メロン栽培(様式別)の収量と労働時間の基準 ①有 ②無 ③検討中() (4)温室メロン栽培の栽培費用と労働時間と収量による経営 ①有 ②無 ③検討中() (5)農業試験場などによる奨励品種の検討 ①有 ②無 ③検討中() (6)その他栽培・作業技術の検討 ①有 ②無 ③検討中()					
11. 労働環境の改善等実施状況					
下記の実施程度に○印をつけてください					
①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×	⑥雇用者の労働報酬の決め方 ◎ ○ △ ×
②担い手確保や後継者育成	◎	○	△	×	⑦雇用確保の方法 ◎ ○ △ ×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×	⑧報酬・退職金等の条件整備 ◎ ○ △ ×
④従業者の作業位置の適正化	◎	○	△	×	⑨福利厚生制度の整備 ◎ ○ △ ×
⑤組合員の労働報酬の決め方	◎	○	△	×	⑩作業管理と安全管理 ◎ ○ △ ×
その他労務上の問題点					

3. 診断調査表

1. 温室メロン養液栽培体系(モデル例)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
春作	ECの目標値 2.4 → 2.4 → 3.0 → 2.4 → 											
主要作業名			播 鉢 種 上げ	定 植	交 配 果 ・ 摘 心	玉 摘 つ り		収 穫				

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
夏作	ECの目標値 2.0 → 2.0 → 2.4 → 2.0 → 											
主要作業名				播 鉢 種 上げ	定 植	交 配 果 ・ 摘 心	玉 摘 つ り	収 穫				

2. 留意点

地下部	PHの目標値	5.5～6.5(養液土耕も同様)で培養液を調整、スラブ内は成り行き
	スラブ内温度	春作は加温は必要ない。夏作は栽培ベッドをアルミ蒸着フィルム等で被覆し、温度を上げない
	その他の管理	廃液率が10～20%になるように吸液する(養液栽培)
地上部	ハウスの気温	夜温:20～25℃、昼温:27℃
	炭酸ガス濃度	800～1000ppm
	光環境	最大限の受光体制をとる

3. 温室メロン養液栽培の月別給液量

(単位:ℓ/株/日)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
給液量	0.7	0.7	0.8	1	1.4	1.2	1.5	1.7	1.3	1	0.7	0.6

※1回の給液量は株当たり200ml./10分程度とし、1日10～14回与える(「養液栽培の実用技術」P190 社団法人農業電化協会)

4. 温室メロン栽培体系(受診農園の場合)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
	ECの目標値											
主要作業名												

4. 農産物生産の作業別労働時間調査表

施設栽培(温室メロン)

(単位:h、%)

項 目		当社実績(h)をこの欄 に記入	労働時間割合	当社(h)	静岡県(h)	労働時間割合
作付け面積(a)			%表示	10アール当り	10アール当り	%表示
育 苗	育苗管理		0.0%	0	222.0	8.2%
	接木		0.0%	0	114.5	4.3%
			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
	計	0	0.0%	0	336.5	12.5%
本 ぼ	床土碎土		0.0%	0	98.2	3.6%
	蒸気消毒		0.0%	0	74.5	2.8%
	床作り		0.0%	0	163.6	6.1%
	定植		0.0%	0	119.9	4.5%
	誘引・摘葉		0.0%	0	145.6	5.4%
	追肥管理		0.0%	0	63.8	2.4%
	交配・整理		0.0%	0	107.2	4.0%
	摘果・玉つり作業		0.0%	0	103.5	3.8%
	果実管理(袋掛等)		0.0%	0	140.7	5.2%
	かん水		0.0%	0	155.5	5.8%
	温度管理		0.0%	0	74.9	2.8%
	防除		0.0%	0	131.7	4.9%
	かたづけ		0.0%	0	170.6	6.3%
	その他(状況観察等)		0.0%	0	63.4	2.4%
	計	0	0.0%	0	1613.1	59.9%
収	収穫		0.0%	0	104.7	3.9%
	選別・調整・出荷		0.0%	0	638.2	23.7%
			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
	計	0	0.0%	0	742.9	27.6%
そ の 他			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
			0.0%	0		0.0%
	計	0	0.0%	0	0.0	0.0%
合 計		0	0.0%	0	2692.5	100.0%
家族労働時間						
雇用労働時間						

出典: データは静岡県農業水産部
作物別技術原単位

5. 農産物生産の収益・費用調査表

施設栽培(温室メロン)(単位:kg、円、%)

項目			当社	費用割合	当社	静岡県	費用割合	摘要
面積(a)				%表示	10a当たり	10a当たり	%表示	
粗 収 益	生産量				0	1,568		出荷箱数
	販売単価				0	8,790		箱単価
	生産額				0	13,782,720		①
経 <								

損益分岐点売上高	0
損益分岐点販売量	0

出典: データは静岡県農業水産部
作物別技術原単位

1.農業経営診断予備調査書(1-1) <ミツバ水耕栽培>—ハウス栽培

平成 年 月現在

診断希望事項											
農業経営者の概要	経営の形態	①個人経営 ②法人経営		資本金		千円(増資予定)		千円)			
	名称			従業員数	役員	男	人	女	人		
	所在地	〒 TEL			従業員		人		人		
	代表者名	(年齢)			家族		人		人		
	営業年数	年(うち法人化 年)			パート(8時間換算)		人		人		
	決算日	月 日		計	男	人	女	人			
	集団栽培	①有り ②なし		作業時間	①1日当平均		②年間		日		
	営業の形態	①単一経営 ②複合経営()		休日数	①月当 日		②年間		日		
	認定農業者	①である(第1回 H 年認定) ②でない ③予定(H 年)		後継者	①有り ②未定 ③なし						
	循環型農業取組み	①廃材・廃棄物の再生活用 ②酪農の糞尿の活用と処理場の設置 ③その他()									
複合経営	耕種	穀物	①	②	③	花き	①	②			
		野菜	①	②	③	果物	①	②			
		その他	①	②	③	備考					
	畜産	①酪農 ②養豚 ③肉養牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥養蚕 ⑦その他()									
加工	①農産物加工() ②畜産物加工() ③その他の加工()										
ミツバ栽培の概要	栽培方法の特色		① a)循環式水耕(NFT・DFT・その他) b)ロックワール水耕方式 c)その他 ②環境制御の自動制御化 ③その他()								
	栽培施設の特色	熱源	①ボイラー方式 a)電気 b)プロパンガス c)重油 d)その他 ②ヒートポンプ方式								
		ハウス栽培の特色	例:水はけ方法など								
	日常の管理	作業の記録	①工場農作業記録	①有る ②無し							
			②施設内の温湿度管理記録(時間、日)	①有る ②無し							
			③施肥記録	①有る ②無し							
④防除記録			①有る ②無し								
⑤設備点検管理、メンテナンス記録			①有る ②無し								
⑥その他の管理記録	()										
設備のメンテナンス	①定期点検と修理	①専門業者に委託 ②簡単な修理は自社で									
	②日常点検	①専門者が実施 ②全従業員が実施									
農業経営の現状と課題	作目	作付け面積	施設面積	生産量(トン)	<農業経営の課題>						
	①				①施設の維持管理						
	②				(電力料等ランニングコスト削減)(省力化の検討)						
	③				②作物の選択						
	④				③市場対応(販売先の確保等)						
	合計				④貸付農家と農地						
	<経営耕作地>	地目(○印)			面積(アール)			(地代)(貸付農家数)			
	所有地	畑	田	山林	住宅	他					
	借入地						⑤従業員と労働時間				
	<作業受委託>	作業内容			面積(アール)			⑥その他			
				<今後の主な計画>							
栽培施設の現状と課題	施設・設備名		型式・性能等		備考		<栽培施設・設備の課題>				
	①ハウス施設	フェロン型	棟	m ²			①施設の老朽化				
		両屋根型	棟	m ²			②施設のメンテナンス				
		その他	棟	m ²			(日常の設備メンテは自前で実施)				
	②水耕プラント					③施設の管理技術					
	③冷暖房設備					④水耕管理技術					
	④制御システム					⑤その他()					
	⑤気流調節システム					<栽培、生産方式の課題>					
	⑥その他					①品種の開発					
						②灌水方式の研究(バブ方式など)					
					③その他						

2.農業経営診断調査書(2-1)

〈ミツバ水耕栽培〉—ハウス栽培

平成 年 月現在

1 農業経営の沿革

(1) 経営規模の推移と内容(設備、機械化のレベル・栽培方式の転換などの経過・販売先)

(2) 現在の経営規模

①耕作面積	②施設面積	③投資	④従業員数			
			経営参加人数	家族人	雇用者人	合計
			個人経営	-----		
			法人経営			

(3) 現在の経営の特色

2 農業経営コンセプト

(程度)

①食の安全・安心を基本コンセプトにして栽培している	①いる ②いない	◎ ○ △
②販売先を決めて栽培している	①いる ②いない ③一部実施	◎ ○ △
③消費対象顧客を決めて栽培している	①いる ②いない ③一部実施	◎ ○ △
④無・減農薬・有機栽培している。	①いる ②いない	◎ ○ △
⑤省力化・機械化を導入して効率化を図っている。	①いる ②いない	◎ ○ △
⑥ISO14001、9000、22000いずれかの導入を図っている	①いる ②いない	◎ ○ △
⑦その他		◎ ○ △

3 ミツバ栽培の生産内容

栽培方式	作付面積	作付時期、出荷時期	品質把握取組み	減農薬取組み	廃液処理取組み	有機栽培取組み状況
循環式水耕栽培(①NFT方式②DFT方式③その他)						
その他養液(水耕)栽培(①ロックワール方式②バック方式③その他)						

4 ミツバ栽培売上高と投入費用、収益(年間)

	①平成 年	②平成 年	③平成 年	④平成 年	備考
栽培面積					
生産量(収穫量)トン					
売上高(万円)					
投入費用(万円)					
投入労働時間(時間)					
収益(万円)					

5 現在の栽培方法での工夫 (特に工夫している作業、内容を記入して下さい)

1) 循環式水耕栽培(①NFT方式②DFT方式③その他)

2) その他養液(水耕)栽培(①ロックワール方式②バック方式③その他)

6 作目・品種・立地条件等の問題点

7 品種の開発など計画中の品目は何か・検討状況の内容

1.農業経営診断予備調査書(1-2) <ミツバ水耕栽培>—ハウス栽培

平成 年 月現在

販売関係の現状と方針	1) 消費者のニーズ把握	①している ②していない	10) 農産物の品目別、生産量と販売額		
	2) 対象とする顧客	①決めている ②決めていない	生産品目	生産量(%)	販売額(%)
	3) 直販の場合の顧客名簿	①有 ②無	①		
	4) 販売計画	①有 ②無	②		
	5) 計画の達成度	①高い ②普通 ③低い	③		
	6) 代金回収	①農協経由 ②現金 ③その他	④		
	8) 販売計画達成上の課題		⑤		
			合計	トン	千円
	9) 今後の販売方針戦略の課題		11) 流通(販売)先の割合		
			①農協・市場		%
財務会計	1) 複式簿記等財務諸表を作成	①している ②していない	7) 施設・設備等への投資内容		
	2) 財務諸表の作成にパソコンを活用	①している ②していない	投資設備名	金額	千円
	3) 資金繰表(キャッシュフローの管理)	①有 ②無	①		千円
	4) 事業計画・利益計画	①有 ②無	②		千円
	5) 借入金の内訳		③		千円
	金融機関	金融機関名	金融資金(商品)名	借入金額	千円
	政府系				
	民間系				
	6) 借入金の主な使途		合計		千円
	8) 利益計画の達成状況と借入金の返済状況				
人事労務関係	個人経営の場合		法人経営の場合		10) 経営組織図(作業分担図)
	1) 家族協定書	有 無	有 無		
	2) 労働条件通知書	有 無	有 無		
	3) 就業規則	有 無	有 無		
	4) 給与規定	有 無	有 無		
	5) 退職規定	有 無	有 無		
	6) 健康保険	有 無	有 無		
	7) 福利厚生	有 無	有 無		
	8) 労災保険	有 無	有 無		
	9) 雇用保険	有 無	有 無		
農業経営上の課題	1) ミツバ栽培の経営上の課題(該当する番号に○印)				2) 下記マニュアルを備えているか(YESに○)
	①従業員の確保難	⑨生産方式の改善難	①設備機器(環境設備含む)オペレーションマニュアル		
	②担い手の高齢化	⑩販売高の低下	②温湿度管理マニュアル		
	③作業システムの不備	⑪利益率の低下	③設備保守点検マニュアル		
	④技術革新への対応が追いつかない	⑫無、減農薬への対応	④養液水耕栽培マニュアル		
	⑤設備のランニングコスト・保全費が大	⑬有機栽培への対応	⑤防除マニュアル		
	⑥生産コストの上昇	⑭後継者難	⑥農作業マニュアル		
	⑦設備投資の資金回収の遅れ	⑮軽労働化が困難	⑦パソコン等IT操作活用マニュアル		
	⑧販売先の確保	⑯経営規模拡大が困難	⑧その他()		
	⑰その他()				

2.農業経営診断調査書(案)(2-2) <ミツバ水耕栽培>—ハウス栽培
平成 年 月現在

8販売・受注状況、販売活動の特色

品目名	品質区分	販売先	契約栽培
記入例 ミツバ(水耕)	食味・優	インターネット販売30% 農協50% スーパー20%	スーパー100%

9水耕栽培設備・機器の状況(a, b、の場合は○印、それ以外の場合は○欄に記入して下さい)

a)循環式水耕プラント(①NFT ②DFT)		b)ロックウール水耕プラント		c)その他	
①ハウス設備	棟	①ハウス設備	棟	①	台
②水耕栽培ベツ	台	②栽培ベツ	台	②	
③培養液貯蔵タンク		③培養液貯蔵タンク		③	
②冷暖房・湿度調節機器		②冷暖房・湿度調節機器		④	
③自動制御システム機器		③自動制御システム機器		⑤	
④水耕プラント		④水耕プラント(給排水設備含む)		⑥	
⑤培養液温度調節機器		⑤培養液温度調節機器			
⑥二酸化炭素調節設備		⑥その他()			
⑦その他()					

10生産・技術・設備状況の推移

	創業時(年前)	2年前	1年前	現在	備考
・作付け面積変化					
・従業員数 (内パート)	()	()	()	()	
・全使用面積					
(内借地)	()	()	()	()	
・水耕プラントの台数	台	台	台	台	
・プラントの運転技術	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	

11ミツバ水耕栽培の技術・研究について

①ミツバ栽培の体系(作業マニュアル)整理	①有り	②無し	③検討中
②ミツバ栽培の先進事例の視察・研究	①有り	②無し	③検討中
③ミツバ栽培の収量とプラント稼働時間の標準	①有り	②無し	③検討中
④ミツバ栽培の運営計画(経営計画)	①有り	②無し	③検討中
⑤水耕栽培の新しい作目への取り組み研究	①有り	②無し	③検討中
⑥水耕栽培方式の新技术の研究	①有り	②無し	③検討中

12労務管理の実施状況

①労働時間の短縮・合理化	◎ ○ △ ×	⑥報酬・退職金等の条件整備	◎ ○ △ ×
②担い手確保や後継者養成	◎ ○ △ ×	⑦福利厚生制度の整備	◎ ○ △ ×
③従業員の技術指導・研修	◎ ○ △ ×	⑧作業管理と安全性管理	◎ ○ △ ×
④雇用者の労働報酬の決め方	◎ ○ △ ×	⑨腰痛対策等作業性の研究	◎ ○ △ ×
⑤雇用者確保の方法	◎ ○ △ ×	⑩その他()	

13販売・生産上の問題点

3. 診断調査表

1. 栽培体系(循環式水耕栽培モデル例)

月		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
栽培型	上	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
水耕ミツハ	◎		◆		◎	◆		◎	◆		◎	◆
	—	◆	◎	—	◆	◎	—	◆	◎	—	◆	◎
						☆						
◎ 種蒔き ◆ 収穫 ☆ 暖房 * 冷房												
主要作業												

2. 栽培体系(当社)

月		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
栽培型	上	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
主要作業												

4. 農産物生産の作業別労働時間調査表 ミツバ水耕栽培

	当社	愛知県モデル
(1)作付け面積(a)		70a(硬質ビニールハウス)
(2)延作業人数 ()内雇用人数		22人(内雇用户20人)

単位：時間／10 a

作 業 名	当社労働時間			愛知県モデル		倍率比較 B/A
	当社全体 時間	B 10a当り時間	労働時間 割合%	A 10a当り時間	労働時間 割合%	
育 苗				117	2%	
土づくり				0	0%	
土壌消毒				0	0%	
保温換気管理				0	0%	
施 肥				12	0%	
定植準備				0	0%	
定 植				112	2%	
か ん 水				0	0%	
防 除				27	1%	
開花調節				0	0%	
収 穫				129	3%	
後片づけ				62	1%	
その他栽培管理				59	1%	
小 計				518	10%	
選別・包装・荷						
造・搬出・出荷				4538	90%	
合 計				5056	100%	
(うち雇用時間)				4541	90%	

<労働時間内訳>

単位：時間／10 a

	当社労働時間			愛知県モデル		
	全体	10a当り		全体	10a当り	
①家族労働時間				3605	515	
②雇用労働時間				31787	4541	
常時雇用				31787	4541	
臨時雇用				0	0	
合計				35392	5056	
1人当たり労働時間				1609	——	

5. 作目別収量・粗収入・費用・農業所得調査表

ミツバ水耕栽培

		当社		愛知県モデル		倍率比較
区 分		全体	10a当り B	全体	10a当り A	B/A%
生産	作付面積(a)		---	70	---	---
	生産数量(kg)			140000	20000	
	平均単価(円/kg)			600	600	
	販売額(千円)			84000	12000	

(単位:千円、時間、%)

		当社			愛知県モデル			倍率比較
区 分		全体	10a当り B	費用割合 %表示	全体	10a当り A	費用割合 %表示	B/A%
農業 経営 費	種苗費				1,015	145	1.4%	
	肥料費				3,885	555	5.3%	
	農薬費・衛生費				2,464	352	3.3%	
	農具費				917	131	1.2%	
	動力光熱費				4,291	613	5.8%	
	作業用衣料費				42	6	0.1%	
	諸材料費				3,500	500	4.7%	
	水利費					0	0.0%	
						0	0.0%	
	減価償却費				11,223	1,603	15.2%	
	修繕費				1,380	197	1.9%	
					0	0	0.0%	
	家族または構成員支払労				7,210	1,030	9.8%	
	雇用労働支払労賃				25,431	3,633	34.5%	
	小 計				61,358	8,765	83.1%	
	管理費	事務費			210	30	0.3%	
		調査研究研修費			441	63	0.6%	
		福利厚生費			1,659	237	2.2%	
		農業共済・保険料			336	48	0.5%	
		支払地代・賃借料			0	0	0.0%	
		利用料金			0	0	0.0%	
		租税公課			511	73	0.7%	
		支払利子			1,115	159	1.5%	
		雑費			616	88	0.8%	
	小 計				4,888	698	6.6%	
	販売費	出荷経費			7,567	1,081	10.3%	
					0		0.0%	
					0		0.0%	
	小 計				7,567	1,081	10.3%	
合 計					73,813	10,545	100.0%	
事業利益					10,187	1,455		

出典:データは愛知県農業経営改善モデル

- ①適用地域は尾張平坦地;70a(硬質ビニールハウス)
- ②技術面は施設環境制御の自動化
- ③販売方法は契約、直販

モデル参考データ

自家労賃時間単価	4826	円
常時雇用労賃時間単価	800	円
臨時雇用労賃時間単価	---	円

6.経営力チェックリスト(水耕栽培)

(5. 3. 1のいずれかに○印をつけてください。)

1. 経営者	得	点
① 利益目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3 1
② 外部環境の変化に、積極的に取り組み、現状改革に努めていますか	5	3 1
③ 経営理念や将来像などを文書にして従業員に明示していますか	5	3 1
④ 経営規模の拡大や収益向上をめざし販売先、流通方法などマーケティングに積極的に取り組んでいますか	5	3 1
⑤ 生産情報公表JAS規格(認定農業者)への適合に努めていますか。(種まきから、農薬の種類、化学肥料、土壌改質剤、などの使用頻度、生産履歴を公表できること)	5	3 1
⑥ 後継者対策・雇用対策に取り組んでいますか	5	3 1
⑦ 水耕栽培では家族経営型から雇用経営型へと転換し、作物管理は従業員に任せ、経営者は労務管理や販売などに重点を置いて取り組んでいますか	5	3 1
⑧ 養液栽培では排水管理、土壌汚染対策等、環境保全に積極的に取り組み肥料の節約や省資源に努めていますか	5	3 1
⑨ 水耕栽培では環境保全や各種作業マニュアルの徹底などの従業員教育に取り組んでいますか	5	3 1
⑩ 地域社会や集落営農組織との連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3 1
得点計		

2. 経営基本	得	点
① 経営目標・経営計画(長期・短期)を策定していますか	5	3 1
② 経営計画や生産(作業)計画にPDCA(計画・実施・チェック・改善行動)サイクルを実施していますか	5	3 1
③ 水耕栽培施設の償却費の負担を軽くするため、作付け回数を増やすなど周年連続生産に努め施設の利用率を高めていますか	5	3 1
④ 養液栽培は工夫の成果が早く、明確に現れます。作物特性、市場性、立地を十分に認識して、独自の工夫をして売上げ向上に努めていますか	5	3 1
⑤ 養液栽培には「養液管理」、「栽培管理」、「機器操作」などの技術習得が不可欠です。技術の習得はもとより、新技術の導入に積極的に取り組んでいますか	5	3 1
⑥ 水耕栽培は環境負荷の小さい生産方式と言われます。肥料や農薬の系外への排出対策、廃棄物対策を図っていますか	5	3 1
⑦ マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3 1
⑧ パソコンによる作業日記作成・帳簿作成と経営分析を行っていますか	5	3 1
⑨ 生産高・損益・生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3 1
⑩ 資金調達・省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3 1
得点計		

3. 販売管理	得	点
① 経営目標に沿って生産・販売計画を立てていますか	5	3 1
② 市場情報を的確につかみ、市場分析の結果を販売・生産に反映させていますか	5	3 1
③ 過去の各々の販売実績を分析して、新しい販売計画を立てていますか	5	3 1
④ 販売高の動向について、その原因分析を行っていますか	5	3 1
⑤ 販売経路・販売促進・販売方法を考慮していますか	5	3 1
⑥ 販売先との情報交換を分析して改善策を行っていますか	5	3 1
⑦ 来園者のニーズや意見を農園の経営に生かしていますか	5	3 1
⑧ 販売価格と生産費を常に意識して改善していますか	5	3 1
⑨ 競争相手と比較して品質・価格をつかみ対抗戦略を考えていますか	5	3 1
⑩ JA共販・市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3 1
得点計		

4. 生産管理	得	点
① 生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3 1
② 生産計画は、生産・販売・労務の関係担当者が合議して作成されていますか	5	3 1
③ 培養液の濃度は生育、品質に大きな影響を及ぼしますが、EC管理 や成分イオン濃度管理等の方法で徹底した濃度管理を実施していますか	5	3 1
④ 水耕栽培の作目別各種作業マニュアル(年間作業)はありますか 又、それを守っていますか	5	3 1
⑤ 養液栽培では良質な多量の水を1年を通して安定して得られることが必要です。水の改善に積極的に取り組んでいますか ・どのような水を使用しているか (井戸水 河川水 水道水 雨水) ・水質の改善策としてどのような方策を実施しているか (分離膜法 蒸留法 イオン交換法 電気透析法 ろ過法)	5	3 1

⑥	根域の酸素レベルは植生を決定する重要な要因です。培養液を常時流動させるなど工夫していますか	5	3	1
⑦	培養液の病原菌汚染対策に、積極的に取り組んでいますか(①加熱 ②紫外線照射 ③緩速砂ろ過法 ④その他)	5	3	1
⑧	ポジティブリスト制(登録以外の農薬の使用禁止の法律)が施行されます。農薬の管理体制の強化に努めていますか	5	3	1
⑨	培養液濃度、原水の性質、施設の日当たりや風通し、などで創意工夫し、自分流の新しい栽培方法の開発に努めていますか	5	3	1
⑩	養液栽培では温度や肥料成分等の影響が敏感に現れます。状況変化への機敏な判断と対応に努めていますか	5	3	1
得点計				

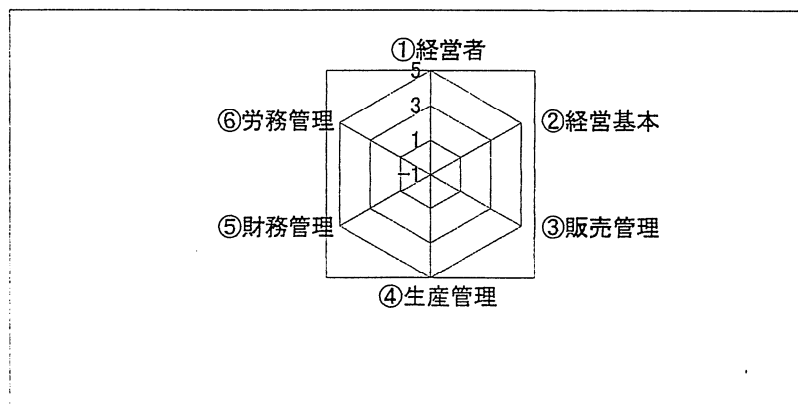
5. 財務管理		得 点		
①	経営と家計との区分が適切に行われていますか	5	3	1
②	複式簿記による記帳を行っていますか	5	3	1
③	青色申告を行っていますか	5	3	1
④	資金繰り表作成の上借入金の返済計画は適正ですか	5	3	1
⑤	パソコン財務ソフトを導入していますか	5	3	1
⑥	得意先別の売掛、買掛残は適切にチェックしていますか	5	3	1
⑦	借入資本と自己資本のバランスは適正ですか	5	3	1
⑧	固定資産に対する過剰な投資を行っていませんか	5	3	1
⑨	利益目標達成のための財務分析は十分おこなっていますか	5	3	1
⑩	作目別の収支計算・損益分析を行っていますか	5	3	1
得点計				

6. 労務管理		得 点		
①	従業員の能力からみて、適材適所に配置し、労働配分も適正ですか	5	3	1
②	従業員、特に新入者や未熟練者に対して作業マニュアルに基づいて教育を実施していますか	5	3	1
③	労働時間は1日8時間・年間1800時間を目標に労働時間の短縮に努めています	5	3	1
④	農作業を楽にするために、高設栽培など作業姿勢の工夫に努めていますか	5	3	1
⑤	クリーンな作業環境や福利厚生により雇用者の安定的確保に努めていますか	5	3	1
⑥	作業者の安全衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑦	就業規則や服務規程があり、よく守られていますか	5	3	1
⑧	従業員の給与は社会的水準以上を維持していますか	5	3	1
⑨	労災・社会保障・雇用保険に加入していますか(雇用4ヶ月以上ある場合)	5	3	1
⑩	従業員との意思の疎通・苦情処理にも努めて風通しのよい職場の雰囲気ができますか	5	3	1
得点計				

チェック日(平成 年 月 日) チェック者()
企業名

採点基準

- ・充分な状態。-----5
- ・実施しているが、充分とはいえない。---3
- ・実施していない、当てはまらない。----1



1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

露地栽培(タマネギ) (平成 年 月 日現在)

診断希望事項				
1 生産法人の概要	経営の形態	①個人経営 ②法人経営		資本金 千円・増資予定 千円
	名称			従業員 男 人 女 人
	e-mail			従業員 男 人 女 人
	HP			家族 男 人 女 人
	所在地	〒	TEL	パート(8時間換算) 男 人 女 人
				計 男 人 女 人
	代表者名	(年齢)		作業時間 ①1日あたり平均 時間
	営業年数	年(うち法人化 年)		②年間 時間
	決算日	月 日		休日数 ①月間 日 ②年間 日
	集団栽培	①有り ②無し		後継者 ①有り ②未定 ③無し
経営の業態	①単一経営 ②複合経営()		(5)栽培法等の特色	
認定農業者	①H 年第1回認定②予定(H 年)		①ハウス栽培(土壌養水式)	
2 生産部門 該当に○印	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()		②水耕(溶液)栽培(平成 年より) ③方法 a等量交換式 bNFT(自作・高段方式) ④環境制御のパソコンによる自動制御化 ⑤その他()
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		(5)施設栽培の課題(○印、コメントを記入) ①施設の老朽化 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤水耕管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他()
	(3)養蚕	①養蚕		
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)		
	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	(5)農業経営の課題
	①	ha、頭	トン	①生産部門
	②	ha、頭	トン	②貸付農家数と作物面積の内訳
	③	ha、頭	トン	農家数 貸付数 貸付面積 地代107-ル
	④	ha、頭	トン	共同参加
	経営面積合計		ha、頭	トン
(2)経営耕地			③貸付農地の問題点	
①所有地	畑・水田・施設栽培地・他	ha	・飛地・区画 ・地代 ・その他	
②借入地	畑・水田・施設栽培地・他	ha		
(3)作業受委託	作業内容	面積等		
委託・受託		ha		
委託・受託		ha		
委託・受託		ha		
(4)経営の特色			(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印) ①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等) ②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等) ③作業日誌	
			(7)今後の主要な計画	
4 生産方式	◆機械・施設名	形式・性能	台数・面積等	◆生産方式の課題点
	①トラクター			
	②ウネたて機			
	③マルチャー			
	④刈払機			
◆農用地の現状				

1. 農業経営診断予備調査書(1-2)

露地栽培(タマネギ) (平成 年 月 日現在)

販売関係の現状と方針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン、%)</th> <th>販売額(トン、%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>トン %</td> <td>千円 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>トン 100%</td> <td>千円 100%</td> </tr> </tbody> </table>	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)	①	トン %	千円 %	②			③			④			⑤			計	トン 100%	千円 100%
	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)																					
	①	トン %	千円 %																					
②																								
③																								
④																								
⑤																								
計	トン 100%	千円 100%																						
	(7)代金①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8)販売上の問題点 (9)今後の販売方針・戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約栽培 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配等 % ⑥観光農園 % 計 100%																						
財務会計	6	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①政府系金融機関 千円 ②民間金融機関 千円 合計 千円 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し	(6)借入金の投資内容 ①施設投資 ② (7)利益計画達成の課題																					
	人事・労務関係	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)雇用条件通知書 ①有り ②無し (4)雇用契約書 ①有り ②無し (5)労災保険 ①有り ②無し (6)季節労働就業規定 ①有り ②無し	(9)経営組織図																				
		各種マニュアル整備	8	①施設内環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など ②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ③防除マニュアル ①有り ②無し ④栽培マニュアル ①有り ②無し ⑥その他() ①有り ②無し	9. 経営上の課題点 ☐ (1)従業者の高齢化 ☐ (11)後継者難 ☐ (2)従業者の確保難 ☐ (12)施設コストの増加 ☐ (3)生産方式の改善難 ☐ (13)軽労化困難 ☐ (4)生産効率の低下 ☐ (14)IT化の進展困難 ☐ (5)生産コストの増加 ☐ (15)経営規模拡大困難 ☐ (6)作業システムの不備 ☐ (7)販売高の低下 ☐ (8)利益率の低下 ☐ (9)無減農薬の対応 ☐ (10)有機栽培の対応																			

2. 診断調査表(2-1)

露地栽培(タマネギ)

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容										
(2)栽培方式の転換などの経過										
(3)現在の経営規模と生産方式										
(4)現在の経営の特色										
2. 農業コンセプト(○印をつける)										
(1)食の安心・安全を基本にして栽培している。 ①いる ②いない										
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培している。 ①いる ②いない ③一部は契約栽培している										
(3)無・減農薬・有機栽培している。 ①いる ②いない ③一部はしている										
(4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。 ①いる ②いない ③まだ不十分										
(5)ISO 14001・9001の導入 ①している ②していない										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㌧)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
	(例)タマネギ	タマネギ	篠原選抜系統	露地栽培		0.8				
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度				()	5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度					備考欄				
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度									
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年	㌧	㌧	㌧	㌧					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
6. 収穫方法										
7. 作目・品種・立地条件などの問題点										

2. 診断調査表(2-2)

露地栽培(タマネギ)

7. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)				
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		

8. 機械・設備の状況と作業受委託の状況				
(1)①トラクター (台)PS ②トラック 台 ③耕運機 (台)PS ④動力噴霧器 (台)PS ⑤スプリンクラー 台 ⑥選別機 台 ⑦調整機 台 ⑧ (2)作業受託 (3)作業委託 (4)その他設備(貯蔵庫など)				

9. 生産・技術・設備状況(特色は、)					
	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	㊦()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	㊦()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	㊦()は件数
(4)雇用人数	人()	人()	人()	人()	㊦()は女性数
(5)機械の導入(8の番号)	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	

10. 野菜施設栽培・作業技術について				
(1)タマネギ施設栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有無	①有	②無	③検討中()	
(2)タマネギ施設栽培・作業技術の体系の有無	①有	②無	③検討中()	
(3)タマネギ施設栽培(様式別)の収量と労働時間の基準	①有	②無	③検討中()	
(4)タマネギ施設栽培の栽培費用と労働時間と収量による経営計画	①有	②無	③検討中()	
(5)農業試験場などによる奨励品種の検討	①有	②無	③検討中()	
(6)その他栽培・作業技術の検討	①有	②無	③検討中()	

11. 労働環境の改善等実施状況									
下記の実施程度に○印をつけてください									
①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×	⑥雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
②担い手確保や後継者育成	◎	○	△	×	⑦雇用確保の方法	◎	○	△	×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×	⑧報酬・退職金等の条件整備	◎	○	△	×
④従業者の作業位置の適正化	◎	○	△	×	⑨福利厚生制度の整備	◎	○	△	×
⑤組合員の労働報酬の決め方	◎	○	△	×	⑩作業管理と安全管理	◎	○	△	×

その他労務上の問題点

3. 診断調査表

1. タマネギ栽培体系(モデル例)

月旬 栽培型	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
主要作業名	は種床消毒 は種床準備 は種	本播消毒	元肥・定植	追肥	追肥	追肥	収穫		収穫終わり

2. タマネギ栽培体系(当農園の場合)

月旬 栽培型	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
主要作業名									

4. 農産物生産の作業別労働時間調査表

露地栽培(タマネギ)

(単位:h、%)

項 目		全体実績(h)	労働時間割合	実績労働(h)	参考基準値	労働時間割合	A/B×100
作付け面積(a)			%表示	10アール当り	A10アール当りB	%表示	
育苗	土壌消毒		%		4.0	1.8%	
	耕起・施肥		%		2.0	0.9%	
	播種		%		4.0	1.8%	
	防除		%		4.0	1.8%	
	かん水		%		2.5	1.1%	
	採苗		%		10.0	4.4%	
			%			0.0%	
			%			0.0%	
	計	0	%		26.5	11.6%	
本 ぼ	土壌消毒		%		12.0	5.3%	
	施肥		%		6.0	2.6%	
	耕運・畝立て		%		3.0	1.3%	
	植付け		%		40.0	17.6%	
	かん水		%		0.0	0.0%	
	追肥		%		2.0	0.9%	
	除草		%		0.0	0.0%	
	防除		%		5.0	2.2%	
			%			0.0%	
	計	0	%		68.0	29.9%	
収穫	収穫		%		70.0	30.8%	
	調整		%		38.0	16.7%	
	箱詰め		%		14.0	6.2%	
	出荷		%		5.0	2.2%	
			%			0.0%	
	計	0	%		127.0	55.8%	
その他	片付け		%		6.0	2.6%	
			%			0.0%	
			%			0.0%	
	計	0	%		6.0	2.6%	
合 計		0	%		227.5	100.0%	
家族労働時間				出典:データは静岡県農業水産部 作物別技術原単位			
雇用労働時間							

5. 農産物生産の収益・費用調査票

露地栽培(タマネギ)(単位:kg、円、%)

項目	H 年実績A	基準 B	費用割合	摘要	A/B×100
面積(a)	10a当たり	10a当たり	%表示		
粗生産量		350		出荷箱数、10kg/箱	
収販売単価		148		単価/kg、	
益生産額		519,167		①	
経 営 費	変 接 生 産 費	種苗費	22,500	8.3%	
		肥料費	8,722	3.2%	
		農薬費	17,637	6.5%	
		光熱動力費	3,700	1.4%	ガソリン、重油他
		諸材料費	4,208	1.6%	ビニール
		小農具費	8,650	3.2%	
		賃料料金	0	0.0%	
		雇用労賃	55,675	20.6%	850円/時間
		水利費	0	0.0%	
		その他	0	0.0%	
		計	121,092	44.8%	
	出 荷 経 費	資材費	21,100	7.8%	ダンボール他
		運賃	37,450	13.9%	
		手数料	49,321	18.3%	市場8.5%・JA2%・経済連1%
		その他	0	0.0%	
		計	107,871	39.9%	
	固 定 費	小計	228,963	84.7%	
		減価償却費	28,809	10.7%	
		成園費	0	0.0%	
		借地料	0	0.0%	
		修繕費	12,463	4.6%	
		その他	0	0.0%	
		小計	41,272	15.3%	
	合計		270,235	100.0%	②
成 果	農業所得		248,932		③=①-②
	所得率		47.9%		③/①
	家族労働1時間当り所得		1,537		③/T
	総労働時間		228		
	家族労働時間		162		T
	雇用労働時間		66		

損益分岐点売上高	
損益分岐点販売量	

出典: 基準は静岡県農業水産部
作物別技術原単位

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

施設栽培(甘藷) (平成 年 月 日現在)

診断希望事項																				
1 経営の形態	①個人経営 ②法人経営	資本金 千円・増資予定 千円																		
	名称	従業員	男	女																
	e-mail	従業員	男	女																
	HP	家族	男	女																
	所在地	パート(8時間換算)	男	女																
	TEL	計	男	女																
	代表者名	(年齢)	作業時間	①1日あたり平均 時間																
	営農年数	年(うち法人化 年)	②年間 時間																	
	決算日	月 日	休日数	①月間 日 ②年間 日																
	集団栽培	① 有り、② 無し(考えている、いない)	後継者	①有り ②未定 ③無し																
経営の業態	①単一経営、②複合経営()	(5)栽培法等の特色																		
2 生産部門	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()																		
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他																		
	(3)養蚕	①養蚕																		
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産加工(品名)																		
	(5)栽培の課題(○印、コメントを記入)																			
	①品種の開発																			
	②規模拡大に障害																			
	③作物の選択																			
	④労働時間・作業様式																			
	⑤市場対応(観光客の誘引・販売確保)																			
⑥その他																				
3 農業経営の現状と計画	(1)作目・部門名	作物面積・飼養頭数生産量	(5)農業経営の課題																	
	①	ha トン	①生産部門																	
	②	ha トン	②貸付農家数と作物面積の内訳																	
	③	ha トン	<table border="1"> <thead> <tr> <th>農家数</th> <th>貸付数</th> <th>貸付面積</th> <th>地代107-ル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共同参加</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		農家数	貸付数	貸付面積	地代107-ル					共同参加							
	農家数	貸付数	貸付面積	地代107-ル																
	共同参加																			
	④	ha トン	③貸付農地の問題点																	
	経営面積合計	ha トン	・飛地・区画 ・地代 ・その他																	
(2)経営耕地		(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印)																		
①所有地 畑・水田・施設栽培地・他	ha	①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等)																		
②借入地 畑・水田・施設栽培地・他	ha	②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等)																		
(3)作業受委託	作業内容 面積等	③作業日誌																		
委託・受託	ha	(7)今後の主要な計画																		
委託・受託	ha																			
委託・受託	ha																			
4 生産方式	◆機械・施設名		◆生産方式の課題点																	
	①トラクター ②マルチ栽培 ③灌水設備 ④加工施設 ◆農用地の現状																			

1. 農業経営診断予備調査書(1-2)

		施設栽培(甘藷)		(平成 年 月 日現在)																									
販売関係の現状と方針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン、%)</th> <th>販売額(トン、%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>トン %</td> <td>千円 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>トン 100%</td> <td>千円 100%</td> </tr> </tbody> </table>				生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)	①	トン %	千円 %	②			③			④			⑤			計	トン 100%	千円 100%		
	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)																										
	①	トン %	千円 %																										
	②																												
③																													
④																													
⑤																													
計	トン 100%	千円 100%																											
	(7)代金回収 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 (8)販売上の問題点	(11)流通(販売)先の割合																											
	(9)今後の販売方針・戦略の課題	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>①農協・市場</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②契約栽培</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>③スーパー・外食</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>④直販・朝市等</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>⑤インターネット・宅配等</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>⑥観光果樹園</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				①農協・市場	%	②契約栽培	%	③スーパー・外食	%	④直販・朝市等	%	⑤インターネット・宅配等	%	⑥観光果樹園	%	計	100%										
①農協・市場	%																												
②契約栽培	%																												
③スーパー・外食	%																												
④直販・朝市等	%																												
⑤インターネット・宅配等	%																												
⑥観光果樹園	%																												
計	100%																												
財務会計	6	(1)複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①農林中金・農林漁業公庫 スーパーL資金 千円 スーパーS資金 千円 経営体育成強化資金 千円 ②JAバンク・銀行・金庫 農業近代化資金 千円 合計 千円 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し (6)キャッシュフロー管理	(7)借入金の投資内容 ①施設投資 ②																										
			(8)利益計画達成の課題																										
	人事・労務関係	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)就業規則 ①有り ②無し (4)給与規定 ①有り ②無し (5)退職規定 ①有り ②無し (6)健康保険 ①有り ②無し (7)厚生年金保険 ①有り ②無し (8)慰安旅行 ①有り ②無し (9)定期健康診断 ①有り ②無し	(10)経営組織図																									
		各種マニュアル整備	8	①栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ②IT操作活用マニュアル ①有り ②無し ③その他	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>□(1)従業者の高齢化</td> <td>□(11)後継者難</td> </tr> <tr> <td>□(2)従業者の確保難</td> <td>□(12)施設コストの増加</td> </tr> <tr> <td>□(3)生産方式の改善難</td> <td>□(13)軽労化困難</td> </tr> <tr> <td>□(4)生産効率の低下</td> <td>□(14)IT化の進展困難</td> </tr> <tr> <td>□(5)生産コストの増加</td> <td>□(15)経営規模拡大困難</td> </tr> <tr> <td>□(6)作業システムの不備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(7)販売高の低下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(8)利益率の低下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(9)無減農薬の対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□(10)有機栽培の対応</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				9	□(1)従業者の高齢化	□(11)後継者難	□(2)従業者の確保難	□(12)施設コストの増加	□(3)生産方式の改善難	□(13)軽労化困難	□(4)生産効率の低下	□(14)IT化の進展困難	□(5)生産コストの増加	□(15)経営規模拡大困難	□(6)作業システムの不備		□(7)販売高の低下		□(8)利益率の低下		□(9)無減農薬の対応		□(10)有機栽培の対応	
			9	□(1)従業者の高齢化	□(11)後継者難																								
			□(2)従業者の確保難	□(12)施設コストの増加																									
□(3)生産方式の改善難	□(13)軽労化困難																												
□(4)生産効率の低下	□(14)IT化の進展困難																												
□(5)生産コストの増加	□(15)経営規模拡大困難																												
□(6)作業システムの不備																													
□(7)販売高の低下																													
□(8)利益率の低下																													
□(9)無減農薬の対応																													
□(10)有機栽培の対応																													

2. 診断調査表(2-1)

施設栽培(甘藷)

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容										
(2)栽培方式の転換などの経過										
(3)現在の経営規模と生産方式										
(4)現在の経営の特色										
2. 農業経営コンセプト(○印をつける)										
(1)食の安心・安全を基本にして栽培し①いる ②いない										
(2)販売先・消費対象客を定めて栽培し①いる ②いない ③一部は契約栽培している										
(3)無・減農薬・有機栽培している。 ①いる ②いない ③一部はしている										
(4)省力化・機械化を導入して効率化を①いる ②いない ③まだ不十分										
(5)ISO 14001・9001・22000の導①している ②していない(予定している、いない)										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(㎡)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度			(	5. 栽培変更計画中の作目・品種は					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度				備考欄					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度									
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル	㊦ タ-ル					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
6. 収穫方法										
7. 作目・品種・立地条件などの問題点										

2. 診断調査表(2-2)

施設栽培(甘藷)

8. 販売・受注状況・販売活動の特色(消費者交流など)				
作物名	品質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培など)
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		
	食味 優 食味 良 食味 並 悪	インターネット宅配 100% コンビニ50%、ホテル50% 中級食堂チェーン100%		

9. 機械・設備の状況と作業受委託の状況				
(1)①トラクター (台)PS ④ヒートポンプ kw × 台 ⑦ ⑧	②トラック ⑤換気扇	台 ③パイプハウス m ² (m × m) 台 ⑥ポンプ kw × 台		
(2)作業受託 (3)作業委託 (4)その他設備(貯蔵庫など)				

10. 生産・技術・設備状況(特色は、)					
	創業時点	2年前	1年前	現在	備考
(1)作付面積の変化	()	()	()	()	㊦()は借地面積
(2)作業受託	()	()	()	()	㊦()は件数
(3)作業委託	()	()	()	()	㊦()は件数
(4)雇用人数	人()	人()	人()	人()	㊦()は女性数
(5)機械の導入	()	()	()	()	
(6)	()	()	()	()	

11. 野菜施設栽培・作業技術について				
(1)甘藷施設栽培・作業技術の先進事例の観察・研究の有無	①有 ②無 ③検討中()			
(2)甘藷施設栽培・作業技術の体系の有無	①有 ②無 ③検討中()			
(3)甘藷施設栽培(様式別)の収量と労働時間の基準	①有 ②無 ③検討中()			
(4)甘藷施設栽培の栽培費用・労働時間・収量基準	①有 ②無 ③検討中()			
(5)農業試験場などによる奨励品種の検討	①有 ②無 ③検討中()			
(6)その他栽培方式・作業技術の再検討	①有 ②無 ③検討中()			

12. 労働環境の改善等実施状況				
下記の実施程度に○印をつけてください				
①労働時間の短縮・合理化	◎ ○ △ ×	⑥雇用者の労働報酬の	◎ ○ △ ×	
②担い手確保や後継者育成	◎ ○ △ ×	⑦雇用確保の方法	◎ ○ △ ×	
③従業者への技術指導・研修	◎ ○ △ ×	⑧報酬・退職金等の条件	◎ ○ △ ×	
④従業者の作業位置の適正化	◎ ○ △ ×	⑨福利厚生制度の整備	◎ ○ △ ×	
⑤組合員の労働報酬の決め方	◎ ○ △ ×	⑩作業管理と安全性管理	◎ ○ △ ×	

その他労務上の問題点

3. 診断調査表

1. 甘藷栽培体系(モデル例)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
紅高系 ベニアズマ マルチ栽培												
主要作業名		床つくり 伏せ込み		施肥 マルチ 植付け			収穫					

△ ランナー切り離し

◎ 定植

☆ 暖房

Ψ 二重被覆終り ○ 親株定植

◆ 夜冷

* ホリマルチング Ω 二重被覆始め

∩ ハウス

□ 収穫始め～終わり

2. 甘藷栽培(10a当りの作業時間)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
床作り		6										
伏せ込み		4										
栽苗				2 2								
片付け					1							
土壌消毒			6									
施肥			2									
耕運・畝立て			3									
マルチ			3									
植付け				4 4								
灌水				1 1								
除草					2							
防除		0.5			0.5							
つるきり							2 2 2					
収穫							9 9 9					
水洗い							4 4 4					
調整							12 12 12					
箱詰							4 4 4					
出荷							0.5 0.5 0.5					
片付け								3				

施設栽培(甘藷)

(注1) 基準値は、静岡県農業試験場モデル。
(注2) B、C、D欄は、診断先の実績を記入する。
(注3) 栽培面積1^{ヘクタール}の場合、およそ基準値の10倍の数字になると考えられる。

5.収益と費用

(単位:kg、円、%)

甘藷栽培

項 目	10a当り A	診 断 対 象			対 比 D÷A×100	摘 要
		H B 全 年	H C 全 年	H D 10a当り		
粗収益	生産量(kg)	1,800				販売単価
	販売単価(円/kg)	244				H13 191円/kg
	生産額	439,800				H14 227
	副産物収入	0				H15 315
	合計	439,800				①
経営費	変動費	種苗費	16,200			@90円×1440kg
		肥料費	9,300			
		農薬費	11,396			
		光熱動力費	4,600			
		諸材料費	13,833			ビニール、黒マルチ
		小農具費	9,850			
		賃料費	0			
		雇用労賃	44,625			パート859円/H×429H
		水利費	0			(常用1800円/H)
		その他	0			
		計	109,804			
	出荷経費	資材費	14,840			ダンボール@39円
		運賃	25,200			
		手数料	44,436			市場8.5%、農協2%、 経済連1%
		その他	0			
		計	84,476			
	固定費	小計	194,280			
		減価償却費	45,375			50%償却済み
		修繕費	15,938			
		その他	0			
		小計	61,313			
	合計	255,593				②
成果	農業所得	184,208				③=①-②
	所得率	41.9%				③÷①
	1時間当り労働所得	1,320				③÷T(円/時間)
	家族労働見積額	156,600				1800円/H
	自己資本利子見積額	9,593				
	自己地代見積額	10,000				
	生産費(全額参入生産費)	431,786				④
	利潤	8,014				⑤=①-④
	利潤率	1.8%				⑤÷①
	総労働時間(時間)	140				T
	家族労働時間	87				
	雇用労働時間	53				

5.資本装備

(単位:kg、円、%)

甘藷栽培

資本装備(固定資本)		取得価格	耐用年数	減価償却費	
大農具(専用)	マルチャー	200,000	5	36,000	残存割合10%
	掘り取り機	100,000	5	18,000	
大農具(共用)	洗浄機	220,000	5	39,600	負担率50%
	トラクター20ps	2,400,000	8	135,000	
	軽トラック	1,000,000	4	112,500	
	管理機	300,000	5	27,000	
	動力噴霧器	150,000	5	13,500	負担率70%
	連搬機	880,000	5	79,200	
	スプリンクラー	450,000	5	56,700	
	育苗ハウス	650,000	10	58,500	
建物(専用)	作業場	5,000,000	15	150,000	負担率50%
建物(共用)					
合計		11,350,000		726,000	現在は50%

サツマイモの作型

サツマイモ普通掘り栽培・早掘り栽培 栽培暦例

月 旬		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
普通掘り栽培	作付期間	○-----○-----●-----●-----■-----□-----											
	主な作業	育苗 畑の準備 ウネ立て、マルチ張り 植付け 除草 防除 蔓刈り、マルチ除去 収穫 貯蔵											
早掘り栽培	作付期間	○-----○-----○-----●-----●-----■-----											
	主な作業	育苗 畑の準備 ウネ立て、マルチ張り 植付け 除草 蔓刈り、マルチ除去 収穫											

○：育苗，○：マルチ，●：植付け，■：収穫，□：貯蔵
関東地方のマルチ栽培に準じて作成

マルチ栽培でのサツマイモの植付け



参 考 資 料

新野菜づくりの実際
川城英夫編（農文協）

サツマイモ栽培の経営指標

項 目	普通掘り栽培	早掘り栽培
販売収量 (kg/10a)	2,000~3,000	1,500~2,000
単価 (円/kg)	150~200	200~250
粗収入 (円/10a)	300,000~500,000	300,000~500,000
所得率 (%)	40~50	40~50
農業所得 (円/10a)	120,000~250,000	120,000~250,000
費目別の生産費割合 (%)	100	100
種苗費	6	6
肥料費	6	6
薬剤費	17	18
資材費	15	13
動力光熱費	2	3
農機具費	22	27
施設費	3	4
流通経費	28	24
労働時間 (時間/10a)	216 (生産72, 出荷144)	169 (生産102, 出荷67)